

「新学期が始まった」と耳の奥に残っている声は附設中学・高等学校の故原巳冬校長先生である。学期の初日の全校集会で今から始まるというのではなく、過去形ですでに始まったと断定された。不肖者の私はそこからあとの先生のお言葉は覚えていないが、やさしいお顔でしっかりと断定されると学問の場にふさわしい時と場所であると感じたものである。真の智者とは知識や理論を蓄えた者ではなく、仁の徳を選び取ってそこから離れない者をいうそうだ。仁者のいる里に住み着いて学ぶことが善いことと解釈されている一節が論語の里仁の最初に載っている。教える者は仁者であれ、学ぶ者はその近くで徳を得よと言うことであろう。これは基礎一号館の入り口に掲げられ、原本が2階の会議室にある。学位論文を報告する集談会が執り行われる部屋である。「新学期が始まった」